

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

| | | | | | |
|------|------|----------------|------------------|-------|---------|
| 基本目標 | 4 | 人が集い活力を生むまちづくり | 小施策 主管課等 | 経済企画課 | |
| 施策 | 22 | 商業・サービス業の振興 | 評価 責任者 | 小原 勝博 | 内線 3710 |
| 小施策 | 22-3 | 多様なサービス業の振興 | 評価 シート 作成者 | 高橋 久幸 | 内線 3711 |

小施策の概要

| | | |
|---|---|---|
| 現状と課題(総合計画実施計画から転記) | ⇒ | 取組の方向性(総合計画実施計画から転記) |
| 第三次産業の割合が高い産業構成となっており、中でも全事業所数に対し、約3割を占めるサービス業は、多様で市民生活への関連も深く、経済活動の重要な分野であることから、サービス業を含む商業全般の振興を図る方針等を定め、育成・支援する必要がある。 | | にぎわいと求心力のある商業と多様なサービス業の振興に向けて、情報・生活関連サービス業などの育成支援を推進する。 |
| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | ⇒ | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
| サービス業者 | | 多様なサービスを提供する。 |

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

| 実績値の推移 | | | | 実績の評価 | |
|--|-----|-------|------------------------------------|-------|---|
| 指標 | 単 位 | 目指す方向 | 成果点 | ⇒ | 成果の要因分析 |
| 指標① サービス業の従業者数 | 人 | ↗ | | | |
| 当初値 (H24) 53,158 | | | H31目標値 55,800 | | H36目標値 58,500 |
| <p>※経済センサスにより調査している項目のため調査年度のみ掲載</p> | | | | | |
| | | | ・観光客入込数が増加しており、来街者は増加している。 | | ・盛岡三大麺普及協議会が中心となり「わんこそば選手権」の企画、運営を行ったことで、業界と一体となった三大麺普及を行うことができ、全国における盛岡三大麺の認知度が向上したことにより、一定程度交流人口の増加に寄与したものと考えられる。 ・業界団体が主体となり業界を盛り上げる機運が高まっている。 |
| | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | ・盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事業運営となっていない。 | | ・盛岡三大麺普及協議会内において、業務分担に偏りがあるため。 |
| 指標② サービス業の新規求人数 | 人 | ↗ | | | |
| 当初値 (H25) 20,027 | | | H31目標値 20,700 | | H36目標値 21,700 |
| <p>※実績値の根拠となる統計情報の集計に誤りがあったため、当初値、H27及びH28の実績値を修正している。</p> | | | | | |
| | | | ・サービス業の新規求人数が前年より増加した。 | | ・盛岡三大麺普及協議会が中心となり「わんこそば選手権」の企画、運営を行ったことで、業界と一体となった三大麺普及を行うことができ、全国における盛岡三大麺の認知度が向上したことにより、一定程度交流人口の増加に寄与し、サービス業の新規求人数の増加につながったものと考えられる。 ・盛岡三大麺普及協議会が中心となり、イベントの企画、運営を行ったため。 ・業界団体が主体となり業界を盛り上げる機運が高まっているため。 |
| | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | ・盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事業運営となっていない。 | | ・盛岡三大麺普及協議会内において、業務分担に偏りがあるため。 |

今後の方向性(平成30年度以降)

| | |
|--|------------------------------------|
| 評価を踏まえた取組の方向性 | ★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討 |
| <p>★ 各種事業を推進していくに当たって、市の財政的支援は重要であり、現状維持が必要であると考えられる。</p> <p>★ 盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事業運営となるように引き続き調整していく必要がある。</p> | |
| <p>★ 各種事業を推進していくに当たって、市の財政的支援は重要であり、現状維持が必要であると考えられる。</p> <p>★ 盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事業運営となるように引き続き調整していく必要がある。</p> | |